

# 令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## 全体概要

### I 概要

令和5年度は、5月にコロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類となり、行動制限が無くなったことにより人の流れが戻り、社会経済情勢も大きく回復した年であった。

特にわが国においては、円安の影響も受けインバウンドの急増が見られる中、令和6年1月1日に発生した能登半島地震は被災地に大きなダメージを与え、国を挙げて観光振興などを通じた支援の動きも活発化した。京都では、オーバーツーリズムによる地域住民への影響や観光業界の担い手不足が課題となり、関係者が連携して観光客の分散化やマナー啓発及び人材確保等に取り組んできた。

当財団においても、MICE開催に際して開催時期や見学先などのコントロールにより、分散化に努めるなど、行政や関係機関と協力して課題解決に向けた取組を進めてきた。

また、文化庁京都移転を受け、文化庁及び国民文化祭等と連携した古典の日推進事業や、京都らしいMICE開催支援等を通じ、文化と観光・経済の好循環創出に努めた。

さらに、大阪・関西万博開催に向けたオール京都の取組に参画するなど、国際的な文化交流拠点・京都の魅力向上と持続的発展への寄与を図った。

以下重点施策ごとに令和5年度の取組状況をまとめた。

### II 4つの重点施策別の取組状況

#### 1 古典の日推進事業の充実

令和5年度は2008年の「古典の日宣言」から15周年にあたり、古典の日文化基金賞名誉総裁である彬子女王殿下をはじめ有識者による対談や、幅広い文化関係者の寄稿を掲載した記念誌を発行するとともに「街かど古典カフェ」を春と秋の2回開催するなど事業の充実に努めた。

また、令和6年の大河ドラマの主人公が紫式部であることから「古典の日フォーラム」「朗読コンテスト」「街かど古典カフェ」事業において、紫式部や源氏物語を題材とした講演やテーマを多く取り上げ、ポッドキャストで源氏物語

の解説を配信するなど、広く情報発信に努めた。とりわけ「古典の日フォーラム」においては文化庁との共催や国民文化祭開催県との連携を深めるなど全国への普及活動に努め、当財団以外の主催で初めて「古典の日フォーラム」が名古屋において開催された。

第3回目となる「古典の日文化基金賞」事業では、「文学・思想」「伝統芸能・音楽」「美術・生活文化」の各分野から2名と1団体を、2回目となる特別賞「古典の日文化基金未来賞」では次代の日本文化を担う若者たちの3団体を顕彰した。

## 2 MICE・国際観光を通じた京都経済への貢献

国際会議等 MICE の回復と持続可能な開催に向け、海外プロモーション活動としては、シンガポールでの「MICE SHOW ASIA 2023」に初出展するとともに、昨年度に続きバルセロナでの「IBTMWorld 2023」には京都ブースを共同出展、メルボルンでの MICE 商談会「AIME 2024」にも引き続き出展し、各々京都での開催につながるPRや商談を行った。国内では関西近辺の大学訪問などを重ねて主催者への働きかけを強め、19件の国際会議誘致に成功した他、世界的な MICE メディアと連携した商談会の開催など、誘致活動を充実させた。

地域貢献としては、国連主催「インターネット・ガバナンス・フォーラム京都2023」を契機に京都府警察と共催でサイバー犯罪に関する啓発活動を実施。「サステナブルな MICE 開催支援補助制度」を活用し、環境対応と併せて市民講座開催や学生の国際会議参加を促し「大学のまち京都」の強みを活かす人材育成を図った。

また、第20回STSフォーラム、京都スマートシティエキスポ2023への運営協力をはじめ、京都ならではの企業ミーティングや展示会・商談会への支援を行い、京都経済全体への貢献に努めた。

## 3 文化・観光・経済の好循環促進

文化と観光を融合する視点から、MICE会場として社寺・文化財等を活用する「ユニークベニュー」の提供に注力してきたが、引き続き充実・拡大に努めるとともに「京都らしいMICE開催支援補助制度」による伝統産業品の活用、京町家や地元商店街への学生訪問など、京都の文化・地域振興と MICE 参加者の満足度向上を図ることで、文化・観光・経済の好循環を促進した。加えて、京都市観光協会と共同して「四季彩京都」を発行し、社寺文化財の特別公

開情報を提供した。

京都迎賓館支援事業においては、外国賓客に対し花街や料亭の協力を得て京都ならではのおもてなしを行うとともに、茶道をテーマにした動画を制作し、迎賓館と伝統文化の価値をPRした。また、参観者の来館記念としての記念品販売において、伝統工芸品の需要拡大を図った。

なお、MICEによる京都の伝統文化・環境保全への貢献を目指す「京都MICE基金」については、主催者に働きかけ会場への募金箱の設置を行う等、基金積み上げに努めた。

#### 4 関係団体との連携推進・組織強化

前年度に続き「古典の日フォーラム」を文化庁と共催。国民文化祭開催県である石川県から「御陣乗太鼓」を招待しフォーラム内で上演、朗読コンテストや文化基金賞の参加・対象者を広く全国から募り、古典の日の推進を通じた全国の文化振興への貢献を目指した。

「大阪・関西万博きょうと推進委員会」には共同代表、共同事務局として、「文化庁連携プラットフォーム」には構成団体として参画し、機運醸成や認証事業など、様々なオール京都の取組に貢献するとともに、府・市・経済団体との連携を強化した。

また、京都市観光協会や京都府観光連盟と連携し、観光の質を高める取組や担い手確保など事業の運営・実施に当たった。

さらに、前年度から再開した「会員の集い」にあたっては、賛助会員PRブースの充実に加え、文化庁や迎賓館関係者も招待する等、会員相互及び関係機関との交流を深めた。

賛助会員に対しては、当財団の活動報告や個別の状況に応じた丁寧な対応に努め、経済の回復と相まって会員数・口数が徐々に増加している。

## 部門別概要

### I 文化交流発信事業（公益目的事業）

#### 1 古典の日推進事業

##### (1) 「古典の日」普及・定着のための事業

平成20年（2008年）の「古典の日宣言」から15年を迎える節目の年に、古典のすばらしさと、古典に触れ、親しむことの大切さを広めるため「古典の日フォーラム」や「朗読コンテスト」「古典の日文化基金賞」「街かど古典カフェ」など15年をアピールして多彩な文化事業を展開した。

##### ①古典の日宣言15周年記念

##### 「古典の日フォーラム2023」

平成19年の源氏物語千年紀のプレイベントにおいて金剛永謹宗家に舞囃子で披露していただいた「源氏供養」を、金剛流を継承する龍謹氏に同演目の一部を演能していただいた。源氏供養は紫式部を主役とする能で、令和6年放送の大河ドラマ「光る君へ」も意識し、紫式部をテーマに取り上げた。ドラマ主演の紫式部役の吉高由里子さんからビデオメッセージをいただき会場を盛り上げた。またフォーラム2022で実現した国民文化祭開催県との連携を継続し、相互の関係を築いた。（令和5年は石川県）。

◇開催日 11月1日（水） 13時～16時

◇会場 京都コンサートホール 大ホール

◇参加者 882名（座席制限なく開催）

##### ◇概要

##### 【第1部】

- ・テーマ曲「古典の日燦讚」と「古典の日宣言」

演奏 大谷祥子と六条山楽坊

大谷祥子（箏）、藤林由里（ピアノ）、饗庭凱山（尺八）

平山美萌（ヴァイオリン）、徳安芽里（チェロ）、祝丸（鳴り物）

宣言 光宗太乙愛（第14回古典の日朗読コンテスト「中学・高校生部門大賞」受賞者）



- 開催者挨拶  
村田純一（古典の日推進委員会会長）  
都倉俊一（文化庁長官）
- 来賓祝辞  
伊吹文明（元衆議院議長）  
千玄室（裏千家前家元） メッセージ代読
- 第38回国民文化祭との連携  
馳浩（石川県知事）メッセージ 収録映像放映  
御陣乗太鼓（石川県指定無形文化財）保存会のみなさん



#### 【第2部】「源氏物語に託した紫式部の思い」

- 「光る君へ」（令和6年NHK大河ドラマ）  
吉高由里子（主人公 紫式部役）ビデオメッセージ
- 能「源氏供養」 金剛龍謹（金剛流若宗家）  
解説 山本淳子（京都先端科学大学教授）
- 講演「紫式部の罪と救済」 山本淳子
- 対談「お能に見る源氏物語」  
山本淳子 金剛龍謹



#### ② 「第15回古典の日朗読コンテスト」

「かなで綴られた日記文学」をテーマに、土佐日記、蜻蛉日記、紫式部日記、更級日記を課題作品とし、全国から【中学・高校生部門】230名【一般部門】236名、合計466人の応募者があった。1次・2次審査の通過者が11月25日に行われた公開最終審査会に臨んだ。

#### ◆フォーラム「古典の世界を読む2023」公開最終審査会と表彰式

- ◇開催日 11月25日（土） 13時～16時10分
- ◇会場 金剛能楽堂
- ◇参加者 251名

録音音源による審査を通過した中学・高校生部門から6名、一般部門から9名の15名が最終審査会に出場した。今回、大賞と特別賞の他に、会場の皆様の投票で選ぶ「みんなの感動賞」を初めて設け好評だった。コンテスト審査の間には、アラブ音楽の演奏をお楽しみいただいた。



また、本コンテストの【中学・高校生部門】大賞と京都府高等学校文化連盟会長賞受賞者が、12月17日に開催された全国高校生伝統文化フェスティバルで朗読を披露した。



### ③ 「街かど古典カフェ」

「古典の日宣言」から15周年の今年は、春と秋の2回開催した。

#### ■春季講座「京の美を担う作家たち」

「京の美を担う作家たち」と題し、伝統工芸の分野で活躍される作家の皆さんを講師に迎え、NHK文化センター京都教室との共催で5回シリーズの講座を開催。伝統を受け継ぎながら新しい事へ挑戦し、次代に繋いでいくことの苦労や喜びなどを熱く語っていただいた。

- 1 江里朋子さん（截金作家）と  
石田知史さん（ガラス工芸作家）
- 2 平井恭子さん（木版画摺師）
- 3 羽田登喜さん（染色工芸家）
- 4 伊東庄五郎さん（御所人形師）
- 5 近藤高弘さん（陶芸家・美術家）

◇会場：NHK文化センター京都教室

◇日時：①4月22日 ②5月27日 ③6月24日 ④7月8日  
⑤7月15日



#### ■秋季講座「来訪神としての光源氏と変容する女性」

能楽師の安田登さんを講師に迎え2回連続講座で、『源氏物語』で描かれる「まばゆいばかりの色彩」や「匂い立つ香り」やなど、五感だけでは表現できない感覚世界を楽しみながら、物語の一節を会場の皆さんと唱和しながら、来訪神としての光源氏の存在を読み解いた。

◇会場：立命館朱雀キャンパスホール

◇日時：①10月7日 ②10月21日

◇参加者 88名



## (2) 情報発信・広報活動等

### ・「古典の日」ホームページ

全国に向けた「古典の日」の発信と、「イベントカレンダー」に於いて、催し物等に関する情報の提供を行った。当HPから、古典の普及のために活動する皆さんの情報発信に努めた。

### ・古典の日絵巻第十二巻「王朝人の暮らし」

日本古代史がご専門の臈谷壽同志社女子大学名誉教授が執筆  
紫式部が生きた平安時代、天皇を中心にした皇族や貴族が華やかな世界を  
繰り広げ、その様子は『紫式部日記』をはじめとする女房たちの仮名日記  
や藤原道長の『御堂関白記』などから知ることができる。それらの文献か  
ら王朝の世界をのぞいた。

2023年[4月] 紫式部が男だったら

[5月] 賀茂祭一路頭の儀

[6月] 賀茂祭一斎王代

[7月] 疫病と御霊会

[8月] 祇園祭と芸能

[9月] 藤原道長と紫式部

[10月] 外交的な清少納言と内向的な紫式部

[11月] 清少納言と紫式部の家系

[12月] 紫式部と受領

2024年[1月] 男は妻がらなり

[2月] 賜姓皇族と光源氏

[3月] 「この世は我が世」——強運な男



### ・ポッドキャスト「山本淳子の源氏物語解説 朗読とともに」

朗読に解説を加えた親しみやすい内容のコンテンツで  
古典ファンを増やすことにつなげようと進めている事業。

京都先端科学大学の山本淳子教授の解説と齊藤由織氏の  
朗読で産経新聞のポッドキャストにおいて（一社）伝統文化  
交流協会との共同事業で10月から配信を開始した。令和6  
年3月末現在で、桐壺、帚木、空蝉、夕顔、若菜、末摘花、  
紅葉賀、花宴まで掲載。



### (3) 共催事業、後援、ロゴ・シンボルマークの使用許可申請数

【共催申請件数】 1 件 【後援申請件数】 40 件

【ロゴ・シンボルマーク申請件数】 15 件

### (4) 「古典の日」普及・推進活動及び広報活動等

- ・ホームページアクセス数：2.5万件

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

- ・第38回国民文化祭「いしかわ百万石文化祭 2023」オープニングセレモニー会場にて「古典の日」PR

10月14日(土)～15日(日)の2日間にわたって来場者に古典の日PRチラシとポッドキャストのチラシなどを配った。

- ・「第1回古典の日フォーラム 美しき愛知」開催

名古屋の「日本の伝統文化をつなぐ実行委員会」の主催で開催

古典の日推進委員会も協力事業として今里事務局長が村田純一会

長挨拶代読、山本壯太アドバイザーが「知っていますか『古典の日』」

と題して講演。他の団体が「古典の日フォーラム」の名前で開催するのは初めてのことで、今後の全国展開の足掛かりとしたい。

◇会 場：名古屋能楽堂

◇日 時：令和6年1月28日(日)



### (5) 「古典の日宣言」15周年記念誌

15年の歩みを振り返り、活動をまとめた記念誌を令和6年3月25日に発行。関係各位に寄稿などのご協力を頂き「古典」の魅力を十二分に感じていただける内容となっている。「古典の日」の取り組みが全国に広がるよう、各都道府県庁文化担当部局や全国紙・地方紙の新聞社、また多くの方の目にとまるよう各都道府県所在地図書館、関連団体等に配布。



## 2 古典の日文化基金賞事業

日本の古典文化の研究、普及、啓発活動等に貢献した個人、法人、団体を顕彰し、古典の日の推進に寄与することを目的として設立した「古典の日文化基金賞」第3回授賞式を9月3日に実施した。「文学・思想」、「伝統芸能・音楽」、「美術・生活文化」は分野毎に各1件。次代の日本文化を担う若者たちを顕彰する特別賞「古典の日文化基金未来賞」は、3団体に賞を贈呈した。

### ◆第3回「古典の日文化基金賞」授賞式

- ◇開催日 9月3日(日) 13時～15時35分
- ◇会場 京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ
- ◇参加者 303名

・第3回受賞者

【文学・思想】クリス・モデル（詩人・作詞家）

【伝統芸能・音楽】桂吉坊（落語家）

【美術・生活文化】木桶職人復活プロジェクト

【古典の日文化基金未来賞】

こまつ歌舞伎未来塾

京都府立嵯峨野高等学校 京・平安文化論ラボ

宮古市立津軽石中学校文化祭郷土芸能獅子舞グループ



### ◇概要

- ・テーマ曲「古典の日燦讚」と「古典の日宣言」  
演奏 大谷祥子と六条山楽坊  
宣言 光宗太乙愛
- ・主催者挨拶 村田純一（古典の日文化基金賞顕彰委員会会長）
- ・来賓祝辞 都倉俊一（文化庁長官）
- ・授賞式  
それぞれの活動の紹介の後、賞状と盾、副賞を授与した。
- ・講評 臈谷壽（古典の日文化基金賞選考委員会副委員長）
- ・古典の日宣言 15周年記念パネルトーク「古典 それは未来への遺産」  
彬子女王殿下（古典の日文化基金賞顕彰委員会名誉総裁）  
クリストフ・マルケ（第2回古典の日文化基金賞受賞）  
小林一彦（京都産業大学 日本文化研究所所長）  
村田純一（古典の日推進委員会 会長）  
山本壯太（古典の日推進委員会アドバイザー）



### 3 京都迎賓館支援事業

京都の伝統技能の粋を集めて建設された京都迎賓館で行われる外国賓客の接遇や参観事業の支援を通して、伝統技能やおもてなしの文化を普及する事業を行った。

#### (1) 外国賓客のおもてなし

以下の外国賓客を京都迎賓館で接遇する際に、地元の花街や料亭等の協力を得ながら、京都が世界に誇る伝統伎芸や京料理でのおもてなしを行った。



令和5年11月 キルギス共和国大統領



令和6年3月 ブルネイ皇太子

#### (2) 参観支援・啓発関連

##### ① 京都迎賓館PR動画<第三弾>の作成・公開

令和3年度の「京料理」(瓢亭14代目当主・高橋英一氏)、令和4年度の「華道」(都未生流六世家元の大津光章氏)に引き続き、今年度は「茶道」をテーマとする動画を作成し、茶道裏千家16代家元の千宗室氏に京都迎賓館での接遇における茶道の役割やおもてなしなどについてお話いただいた。作成した動画は、本財団のホームページのほか、京都迎賓館公式 YouTube チャンネル、京都府や京都市のホームページなどで、令和6年4月12日から公開している。

ア 公開時期  
令和6年4月12日

イ 動画内容

・テーマ  
茶道

・内容

- 京都迎賓館の紹介
- 京都迎賓館における茶道の果たす役割やおもてなしなどについての、千宗室氏に対するインタビュー



## ② もてなし・しつらいプロデュース事業

京都迎賓館における外国賓客接遇の際、しつらいの一つとして活用するいけばな文化の継承・発展のため、いけばな協会への支援を行った。

また、迎賓館での下記の外国賓客の接遇に際し、しつらいアドバイザー（嵯峨美術大学学長 佐々木正子氏）の御指導の下、季節や国に応じて工夫を凝らしながら、京都府京都文化博物館、京都市立美術館、京都府立堂本印象美術館などから、地元美術工芸品を借用して展示し、賓客が迎賓館での滞在時間を楽しんでいただけるよう、支援を行った。

令和5年 9月 G7 議会議長会

令和5年 11月 キルギス共和国大統領

令和6年 2月 スウェーデン王国議会議長

令和6年 3月 ブルネイ皇太子

## ③ 京都迎賓館一般公開への支援事業

京都迎賓館一般公開に関する周知チラシの作成を行うとともに、京都の玄関口である京都駅に京都府・京都市が共同で設置する「京都総合観光案内所」などでチラシの配布を行うなど、一般公開への支援を実施した。

また、京都を中心に約700件のホテル・旅館に置かれる観光情報誌にも、一般公開に関する広告記事の掲載を年2回行い、京都を訪れる国内外の観光客に対して広く発信した。

## ④ 特別企画「京都迎賓館文化サロン」への企画協力

京都迎賓館を会場に、日本の歴史・文化に関するテーマ毎に京都迎賓館にゆかりのある講師による講演等及びプレミアムなガイドツアーを

体験できる特別企画「京都迎賓館文化サロン」について、引き続き、企画協力を行った。

◇第8回「<sup>きりかね</sup>截金」

- ・開催日  
令和5年8月31日（木）
- ・内容
  - 藤の間の舞台扉「<sup>こうるこういん</sup>響流光韻」及び桐の間の欄間「<sup>じつげつ</sup>日月」の截金についての江里朋子氏による講演＜藤の間＞
  - 江里佐代子氏及び講師・江里朋子氏の作品の展示＜藤の間＞
  - 首脳会談などが行われる通常非公開の「水明の間」を含む館内ガイドツアー

◇第9回「箏曲」

- ・開催日 令和6年2月15日（木）
- ・内容
  - 「箏曲」についての歴史や魅力についての講演
  - 「藤の間」舞台で箏の演奏及び十七絃や胡弓による合奏
  - 首脳会談などが行われる通常非公開の「水明の間」を含む館内ガイドツアー

## 4 文化振興に資する発信事業

### （1）京都創生推進フォーラム事業

京都市からの委託を受け「京都創生（歴史都市・京都の魅力に磨きをかけ、世界へ発信していく取組）」の意義を周知するため、会員に向けた情報発信を行うホームページの管理・運営するほか、京都市が海外から寄附を募る事業の支援などを実施した。

### （2）四季彩京都の発行

社寺・文化財特別公開情報を掲載した「四季彩京都」について、令和5年度から京都市観光協会と共同発行を行うことで、紙面の更なる充実や効率化を図り、2023秋冬号、2024春夏号と年2回発行した。

## II 国際観光コンベンション事業

### 1 コンベンション（MICE）事業

#### （1）京都 MICE 基金の運用

国際会議など MICE による地域貢献促進のため、京都府・京都市などの協力の下創設した「京都 MICE 基金」の運用を行った。

本基金の運用を通じて、京都の多彩な文化・芸術や豊かな自然環境、美しい景観の保全・継承活用を図り、京都の魅力や人々の暮らしの向上、MICE・観光振興及び SDGs 達成に寄与する取り組みへの支援・貢献を行う。



#### （2）プロモーション事業

##### ○ 海外プロモーション活動

- ① シンガポールにおいて 2023 年 10 月 24 日～27 日に開催された「MICE SHOW ASIA 2023」へ、初出展した。アジア圏を中心に 1,300 名を超える招待バイヤー（案件保有者）が参加し、京都ブースで 40 件の商談を行った。商談では京都の基本情報、エクスクーションの事例、過去 MICE 開催の事例等をもとに案内した。また主催者よりインタビューの依頼を受け、京都が考える来年度以降の MICE トレンド、京都が取り組んでいるサステナブルな MICE 活動をアピールした。



- ② 昨年に続き、スペイン・バルセロナにおいて、2023 年 11 月 28 日～30 日に開催された「IBTM World 2023」に、「京都東急ホテル&HOTEL HIGASHIYAMA by Kyoto Tokyu Hotel」、「京阪ホテルズ&リゾート」、「国立京都国際会館」、「ザ・プリンス京都宝ヶ池」、「ハイアットリージェンシー京都」の 5 つの事業者とともに京都ブースとして共同出展した。本年は、世界中から 3,600 名を超える招待バイヤー（案件保有者）が参加し、京都ブース全体で約 200 件の商談を行っ

た。ヨーロッパや北米を中心に多くのバイヤーが来場し、京都の基本情報の収集に加え、ユニークベニューやSDGsに関するエクスカージョンを紹介した。商談したバイヤーには、ミニ和綴じメモを渡して京都の伝統産業のPRも行った。

- ③ オーストラリア・メルボルンにおいて、2024年2月19日～21日、アジア太平洋地区最大規模のMICE商談会である、「AIME2024」に出展した。AIME2024には、33か国から4,000名を超える来場者があり、具体的な案件を持つ600名のバイヤーの中から、京都に興味を有する35名の有力バイヤーと商談を行った。

## ○ 国内プロモーション活動

コロナ禍で実施できなかった主催者への直接訪問を中心に営業活動をおこなった。京都市内のキャンパスに在籍している大学教授を中心に大阪・神戸・滋賀・奈良といった関西近辺の大学など計870か所に足を運び、京都としての受け入れ態勢と当財団の活動・支援内容を説明した。また、首都圏においても、誘致中案件のフォローを行った。

その結果、この先開催される国際会議19件の誘致に成功した。

## ○ 世界的なMICEメディアと連携した商談会の開催

2024年3月に、ノーススターミーティンググループに属するアジア最大級のMICEメディア「M&C ASIA」とともに、MICE専門の商談イベント「Kyoto MICE TRADESHOW in corporation with M&C ASIA 2024」を日本で初めて開催した。経済効果が高く、SDGsの達成にも貢献する



付加価値の高い国際会議や、企業主催の会議・インセンティブツアー等の開催決定権を持つ有力バイヤーを対象に、「京都ならではのMICE」が体験できるファミツアーや商談会、ネットワーキングイベントを実施したほか、オーバーツーリズム対策やマナー・モラルの周知啓発も行った。3日目に行われた商談会では、京都を中心に国内事業者12社が出展し、将来のMICE開催について具体的な商談が行われた。



名 称：Kyoto MICE TRADESHOW in corporation with M&C ASIA 2024

日程：2024年3月12日（火）～15日（金）  
会場：長楽館、THE SODOH HIGASHIYAMA ほか  
内容：京都市内ファムツアー、ウェルカムレセプション、商談会、ネットワーキングガラパーティー  
出展事業者：国立京都国際会館、ザ・プリンス京都宝ヶ池、株式会社 JTB、ホテルオークラ京都、バリューマネジメント株式会社、ホテル長楽館京都、京都東急ホテル&THE HOTEL HIGASHIYAMA by Kyoto Tokyu Hotel、THE THOUSAND KYOTO、THE J TEAM 株式会社、ヘアラックス株式会社、デュシタニ京都、エースホテル京都（順不同）

### （3）開催支援事業

#### ① 政府関連特定会議等の京都開催への運営協力

[第 20 回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STS フォーラム)]

公開シンポジウム	2023年9月30日	オンライン開催
歓迎レセプション	2023年10月1日	仁和寺・御室会館
京都エクスカースション	2023年10月2日	35名参加

#### ② 京都スマートシティエキスポ 2023 への運営協力

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)等において、2023年10月に開催された「京都スマートシティエキスポ 2023」について、準備委員会や運営協議会、事業者選定会議など積極的に京都府と連携するとともに、開催支援を行った。

#### ③ MI 案件・展示会（E）の開催支援

京都の都市格に相応しい企業や組織が主催する多くの MICE の京都開催を支援した。

2023年4月のハイブランドの展示商談会では、会場として提案した寺院が採択されて、初の京都府域開催となった。また、5月に東福寺で開催されたイタリアバイクブランドの顧客向けイベントでは、ユニーベニューの活用に関するサポートの他、芸舞妓の舞の披露や来場者への京うちわの配布等、京都の伝統産業促進に向けた取組をアドバイスし活用いただいた。



2023年12月には、昨年につき、東京大学公共政策大学院の20名が京都を視察。旧小学校跡地に建設されたラグジュアリーホテルや京町家の見学、地元商店街の活性化や寺院の観光への取組について担当者から意見を聞き、京都観光の現状を学んでいただいた。



2024年1月30日には、欧米富裕層向け音楽ツーリズムとして「Classical Music Collection Japan」を西本願寺で開催。国宝の「対面所（鴻の間）」でのピアノ演奏会や重要文化財の南能舞台での雅楽演奏について、本願寺との調整役を担った。

また、2024年3月16日に東寺で開催されたイタリア自動車メーカーのイベントでは、文化財の活用や、記念品として参加者へ伝統産業製品配布する取り組みを提案し、採用いただいた。

#### ④ オフサイト・レセプション等の企画・提案

京都市観光協会や賛助会員事業者と連携しながら、開催地ならではのユニークな施設・会場（オフサイト・レセプション）の企画・提案を行った。八竹庵、大徳寺黄梅院、北野天満宮風月殿など新たな施設との連携が強化された。

### （4）各種支援制度の運用状況等

#### ① 助成金

#### ア) 大規模国際コンベンション開催支援助成金の活用（京都市）

[申請案件（2023年度申請(認定)分）]

会議名	参加者	開催予定年度	認定額 (万円)
いけばなインターナショナル	800名	2025年度	300
第16回アジアオセアニア耳鼻咽喉科学会	2,000名	2026年度	300
第133回日本泌尿器科学会総会	5,200名	2026年度	300
第23回国際食道疾患学会	800名	2026年度	300
第46回国際整形災害外科学会	2,500名	2026年度	300
第22回国際内分泌学会会議	5,000名	2026年度	300
第3回世界整形外傷学会	2,500名	2028年度	250

## [2023 年度交付案件]

※開催日順

会議名	参加者	開催期間	交付額 (万円)
第 25 回プラズマ化学国際シンポジウム	563 名	2023年5月21日~5月26日	300
第 11 回アジア児童青年精神医学会	572 名	2023年5月26日~5月28日	250
グローバルサミット 2023	940 名	2023年6月6日~6月8日	300
第 22 回固体センサ・アクチュエータ・マイクロシステム国際会議	1,037 名	2023年6月25日~6月29日	300

## (イ) 京都市 MICE 開催支援助成金の活用 (京都市)

利用件数：38 件 支援金額：7,318,576 円

## (ロ) 「京都らしい MICE 開催支援補助制度」の活用 (京都市)

利用件数：26 件 (うち伝統産業製品 10 件)

支援金額：10,547,182 円

(うち伝統産業製品支援 4,173,020 円)

## (ハ) 「サステナブルな MICE 開催支援補助制度」の活用 (京都市)

利用件数：59 件 (うち、学生の国際会議参加 36 件、市民公開講座 18 件)

支援金額：12,000,000 円

※学生 793 名の国際会議参加支援、市民 3,123 名の市民公開講座への参加支援ほか、環境負荷軽減への取組を支援

## (ニ) 「大規模国際コンベンション誘致支援助成金」の活用 (京都市)

利用件数：1 件

支援金額：134,242 円

## (ホ) 「京都府 MICE 開催支援助成制度」の活用 (京都府)

利用件数：17 件

支援金額：3,990,130 円

コンベンション：8 件 2,580,000 円

分科会：2 件 248,380 円

エクスカーション：7 件 1,161,750 円

## (ヘ) MICE 向け京都伝統産業製品貸出制度の活用

利用件数：5 件

## ② その他の支援サービス

## (ア) 京都コンベンション・パス(地下鉄・市バス特別乗車券)の発行

利用件数：2 件 発行金額：10,525,000 円

(イ) 京都イメージバンクの活用

利用件数：66 件

(ロ) 公開シンポジウム等広報支援制度

利用件数：5 件

(ハ) 京都開催 PR 用バナー貸出制度

利用件数：4 件

(ニ) プロモーション DVD の貸出・提供

利用件数：0 件

(ホ) 京都市 MICE デスティネーション PR 映像の貸出・提供

利用件数：16 件

(ヘ) 京都ストックフッターライブラリ映像の貸出・提供

利用件数：8 件

(コ) 各種広報印刷物等の提供

利用件数：39 件（京都観光案内地図(日英併記) ほか)

## (5) 広報宣伝事業

### ① メールマガジン(京都観光 MICE ニュースレター)の発行

当財団賛助会員や京都市観光協会会員に加え、商談会、視察、問合せ等で接触する国内外のミーティングプランナー、MICE 主催者に対し、定期的に京都の観光 MICE 関連情報を発信することにより、京都での MICE 開催を意識させ、京都への MICE 誘致促進につなげるためメールマガジンの配信を実施した。

### ② ホームページによる京都における MICE 関連情報の発信

国内外の MICE 主催者・参加者に対し、MICE 開催都市「京都」の情報発信を行うため、世界中の国際会議や国際学会の主催者や事業者、加えて京都市内の大学関係者の皆様の利便性向上を図った。

### ③ 京都市 MICE PR 動画の制作

アフターコロナや SDGs の観点を踏まえた、MICE 開催都市としての京都の魅力を訴求する PR 動画を制作。

## (6) MICE 関連情報の調査・収集・検討

### ① 情報の収集

観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)、ICCA (International Congress and Convention

Association 国際会議協会)をはじめ関係団体との積極的な交流を図り、MICE 関連情報の収集に努めた。

また、令和5年8月には MICE 実務者同士の会議を実施したほか、令和6年3月22日に、有識者・MICE 関連事業者・MICE 主催者などと、京都市 MICE 会議を開催した。

## ② 京都大学との協力による国際会議推進

「京都市と京都大学との国際学術都市としての魅力向上に関する連携協定書」(2015年8月締結)に基づき、京都大学と国際会議の推進に関する協議等を継続して実施している。また、各学部の教授会や、研究支援組織の会合等、様々な機会を捉えて、支援施策のPRを行うとともに情報収集に努めている。

## ③ 京都府警察と府民・市民に対するサイバー犯罪被害対策啓発イベントの開催

10月8日から国立京都国際会館で開催された国連主催「インターネット・ガバナンス・フォーラム京都 2023 (IGF 京都 2023)」の連携イベントとして、同会議の議題の1つである、サイバー犯罪について、サイバー被害防止に向けて取り組んでいる京都府警察と当ビューローで共催した。トークショーや啓発物品の配布を行い、約1,600名を超える多くの府民・市民に向けて啓発活動を行った。

催事名：秋のサイバーセキュリティフェス

日程：2023年10月22日(日)

会場：京都駅 駅前広場

内容：和太鼓演奏、スペシャル防犯トークショー、京都市立下京中学校 吹奏楽演奏、啓発物品の配布活動



#### ④ 統計調査・発行

国際会議統計「2022 京都で開催された国際会議」発行

#### (7) 観光関連団体等との連携事業

公益社団法人京都市観光協会や京都府・公益社団法人京都府観光連盟等と連携し、以下の事業にあたり、事務局業務を担った。

##### ① 京都レストランウインタースペシャル 2024

京都市・京都市観光協会・当財団等が参画し、京都を代表する料亭やレストラン、ホテルなど、冬ならではの期間限定メニューを特別価格で提供する同事業を令和6年2月1日～3月17日まで実施。当財団は事務局業務の一部を担った。



(記者会見の様子／公式ホームページ)

##### ② GION プロジェクト

インバウンドを含めた夏の旅行需要を喚起するため、「祇園祭高付加価値体験」等を行う「GION プロジェクト」を実施。当財団は、祇園祭でのプレミアム観覧席の設置や山鉦や社寺での特別な体験プログラムについての企画・運営を担った。



##### ③ 宿泊・飲食事業者への求人サイト等掲載支援補助金

宿泊・飲食事業者に対して、担い手の確保を目的に、求人サイト等に求

人情報を掲載するために必要となる経費の一部を支援する「宿泊・飲食事業者への求人サイト等掲載支援補助金」について、京都市観光協会と共に、一部業務を実施した。

#### ④ Culture & Art Moments @KYOTO 事業

京都府、Art Collaboration Kyoto 実行委員会及び京都府観光連盟と共に、「Culture & Art Moments @KYOTO 実行委員会」を設立し、10月28日～30日に開催された「Art Collaboration Kyoto」(ACK)を核として、現代アートの視点からの高付加価値型文化観光体験プログラム・イベントを集中的に企画・実施した。本事業は、観光庁の「観光再始動事業」の採択を受けて行い、京都ならではの高付加価値コンテンツを開発した。



## 2 国際観光事業（京都市観光協会との協働事業）

### （1）海外情報拠点管理運営事業（京都市委託事業）

世界6都市（ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、シドニー、台北）において情報拠点（レップ窓口）を設置し、現地の旅行動向等の情報を収集するとともに、マーケティングに基づいた京都観光のPR活動等を実施した。

### （2）京都市域内統計収集・分析

京都市域のホテル112施設、旅館27施設の協力を得て、国・地域別の宿泊状況調査を毎月実施し、データ月報として発表した。また、日別の稼働率調査や、数カ月先までの稼働率予測にも取り組んだ。さらに、世界最大のホテルデータサービス提供会社、STRとの連携のもと、客室平均単価(ADR)等の情報を国内外主要都市と比較するなどの情報分析を行った。

### (3) 多言語ウェブサイトの運用事業（京都市補助事業）

外国人観光客向けに情報発信しているウェブサイト「Kyoto City Official Travel Guide」において、行祭事・イベント予定等の情報発信のほか、京都観光モラル・マナー、混雑緩和・分散観光、文化・芸術体験に係る情報の発信強化を行った。

### (4) ソーシャルネットワークの運用事業（京都市補助事業）

英語 Facebook 公式アカウント「Visit Kyoto」や、Instagram 公式アカウント「visit\_kyoto」、中国の SNS「Weibo（ウェイボー）」の京都観光公式アカウントにおいて、行祭事・イベント予定等の情報のほか、京都観光モラル・マナー、混雑緩和・分散観光、文化・芸術体験に係る情報等の発信を行った。

### (5) 海外メディア取材誘致・ファムトリップ支援等事業（京都市委託・補助事業）

海外有力メディア（雑誌、テレビ、ウェブサイト等）の取材受入や、宿泊施設等が実施するファムトリップへの支援を行い、メディア等への効果的な露出を図った。実施にあたっては、直近の海外トレンドや京都市の状況を勘案し、京都観光モラル・マナー、混雑緩和・分散観光といった、サステナブル・ツーリズムの視点を重視し取り組んだ。

また、サステナブル・ツーリズムをテーマとした新たな京都プロモーション映像を制作したほか、Travel + Leisure など海外有力旅行誌へ広告を掲載するなど、京都のブランドイメージの向上を図った。

### (6) 旅行博・商談会事業（京都市委託事業〈一部〉）

国内外で開催されている旅行商談会に出展し、京都観光の PR を行うとともに、多くの顧客を有する海外の有力旅行会社関係者に対し、市内の旅行事業者等に関する情報提供を行うなど、海外から京都への旅行商品造成の拡充及びネットワーク構築を図った。

2023 年 6 月	ILTM APAC（シンガポール）
2023 年 10 月	VJTM（大阪）
2023 年 11 月	SI HE（スイス・ルガーノ）
2023 年 12 月	ILTM Cannes（フランス・カンヌ）
2024 年 3 月	ITB Berlin（ドイツ・ベルリン）

### (7) 京都市認定通訳ガイド認定・育成事業（京都市委託・補助事業）

京都観光の専門知識を身に付け、外国語で京都の奥深い魅力を伝えることができる京都市独自の通訳ガイド「京都市ビジターズホスト（KVH）」の新規募集（6期生）を3年ぶりに再開するとともに、既存のKVH（1～5期生）を対象としたスキルアップ研修等を実施した。

また、KVHを活用し、京都観光モラルの実践につながるツアーコースの造成に取り組んだ。

### (8) インバウンド向けコンテンツ造成支援事業（京都市補助事業）

令和3年11月に京都市観光協会が京都信用金庫と締結した連携協定に基づき、インバウンド向け観光コンテンツ造成支援プログラム「インバウンドイノベーション京都」を実施した。支援希望事業者28件の申込みのうち6件を採択し、有識者や在住外国人によるモニターツアーを行った。

また、インバウンドをテーマにした業界交流イベント「京都インバウンドカフェ」を4回にわたり開催し、事業者同士のネットワークづくりを促進しつつ、コンテンツ造成支援プログラムとの連携を図った。

### (9) 多言語コールセンター運営事業（京都市補助事業〈一部〉）

京都市観光協会の会員を対象とした多言語コールセンターを運営し、宿泊施設をはじめとした外国人向けサービス提供事業者のサポートを行った。また、同協会の会員以外も対象とした、市内免税店向けの多言語コールセンターも合わせて運営を行った。

## 3 広域プロモーション事業

### (1) 宇治茶プレミアムブランド化事業

宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会への参画等を通じて、関係団体と連携し、国内外における宇治茶ブランドの浸透を図る取り組みを行った。

### (2) ゴルフツーリズム事業

昨年度、京都府や府内市町、京都府観光連盟、京都市観光協会、森の京都DMO等と共に、令和5年3月14日～16日まで宮崎にて開催された、アジアゴルフツーリズムコンベンションに参加し、同17日より20日まで実施された京都でのポストファムトリップを実施した。

本年度は、ファムトリップに参加したバイヤーとのネットワーク維持に努め、ツアー造成に係る情報提供を実施した。

### Ⅲ その他の事業（公益目的事業）

#### 1 会報誌「京都文化交流コンベンションビューロー通信」の発行

当財団の1年間の活動状況を中心に、様々な有益な情報を掲載した会報誌を年4回（4月・7月・10月・1月）発行し、賛助会員及び関係団体に送付し、周知した。

#### 2 オール京都の取組

##### （1）大阪・関西万博に向けたオール京都の取組

2025年の大阪・関西万博を契機に、最先端の科学技術や研究開発などの京都産業の強みや、府内各地の文化や観光資源などの魅力を国内外に広くアピールし、交流促進によって京都の発展に着実につなげるため、具体的な取組の検討や推進をオール京都で行うことを目的とする「大阪・関西万博きょうと推進委員会」が、令和5年5月に設立された。当財団は、京都府、京都市、京都商工会議所、京都知恵産業創造の森と共に、本委員会の共同代表に就任するとともに、共同事務局を担った。

- ・基本構想決定 5月
- ・アクションプラン ver.1 公表 9月
- ・団体・企業等の取組に対する認証制度創設 10月
- ・500日前イベント「MEETS #EXPO KYOTO」開催 12月



企業や団体の取組に対する認証制度のロゴマーク

##### （2）文化庁との連携に関するオール京都の取組

文化庁移転については、これまで、京都府・京都市・経済団体等オール京都による「文化庁京都移転プラットフォーム」に構成団体として参画し、文化庁京都移転の気運醸成を図ってきた。

文化庁は、京都での業務を令和5年3月27日から一部開始し、5月15日から本格的に開始しているが、それに先立ち、「文化庁移転プラットフォーム」は、その目的を、文化庁京都移転の気運醸成を図ることから、文化庁京都移転を契機として文化庁との連携による新たな文化政策を進め

ることに定め、プラットフォームの名称を「文化庁連携プラットフォーム」とし、今後、戦略的な展開を図ることとしたところである。

「文化庁連携プラットフォーム」では、オール京都で次の取組を展開し、文化庁との共同事業や政策提言等の取組を展開した。

- 文化庁京都移転記念事業「きょうハレの日、」の開催 9月
- 文化庁等との共同宣言「文化の力で関西・日本を元気に」の発出 7月
- 「文化観光」「食文化」ワーキングの設置・文化庁への政策提言のとりまとめ 6月～令和6年3月

### (3) 「花灯路」「時代祭」事業等の取組

関係団体と連携し、「京都花灯路」や「京の七夕」へ実行委員会の一員として参画し、民間事業者等による観光振興の支援に取り組んだ。

また、「時代祭行列」において、賛助会員から募集した行進者からなる隊列により、「平安建都 1300 年に向けて」「古典の日」の横断幕を掲げて行列の先頭役を担った。



### 3 ホームページの内容充実等

文化交流事業の紹介や各種サービスの活用を促進するため、ホームページを随時更新し、発信を行った。

## IV 共益・収益事業

### 1 賛助会員制度の運営

#### (1) 新規勧誘の促進

平成 24 年度から 5 年連続で大幅に賛助会員を増加させ、23 年度末の 356 口から、28 年度末には 629 口（1.8 倍）まで拡大させた。

しかし、28・29 年度でインバウンド部門を市観光協会へ移管した影響が大きく、その後、MICE を中心により一層加入促進に努めているが、微減が続いていた、

令和 4 年度は、入会メリット等を示し、積極的に勧誘を行ったところ、宿泊業を中心に、ものづくり系企業等を含め、15 の企業に 18 口入会をいただき、3 件 6 口が純増した。

昨年度に引き続き、令和 5 年度もコロナ禍の影響を鑑み、会費の納入猶予及び免除・減額を行ったが、会員が純増したこともあり、令和 5 年度末の賛助会員は、令和 4 年度末より増加し、340 件 530 口（特例の減免対象会員 5 件 6.5 口を含む）であった。

#### ア 新規加入会員（16 件 16 口）

会 員 名
株式会社ワン・ワールド
株式会社長楽館
二条諷詠（株式会社タイムプロデュースリンク）
一般社団法人京都産業会館
株式会社くろちく
株式会社みたて
株式会社のぞみ
西松地所株式会社（タッセルホテル）
株式会社マツシマモビリティサービス
株式会社水玄京
株式会社東山堂
クレソン株式会社
日本武道ツーリズム機構
まねき食品株式会社
株式会社 Droots
アゴーラ京都烏丸

イ 退会会員（11件11口）

会 員 名
京都堀川イン
(株)シー・ディー・アイ
英興株式会社
神田オフィス
(株)柴橋商会京都支店
損害保険ジャパン株式会社 京都支店
株式会社アイコニックス
株式会社 JR 東海リテイリング・プラス
株式会社勇進堂 勇進流刀技術京都支部
三井ガーデンホテル京都三条
株式会社春日 京都支店

ウ 賛助会員数の推移

年度別	会員数	口数
平成20年度末	264	384
平成21年度末	257	374
平成22年度末	255	367
平成23年度末	244	356
平成24年度末	289	507
平成25年度末	297	517
平成26年度末	337	562
平成27年度末	370	601
平成28年度末	398	629
平成29年度末	396	608
平成30年度末	385	591
令和元年度末	383	587
令和2年度末	362	536
令和3年度末	332	484
令和4年度末	335	525
令和5年度末	340	530

## (2)「会員の集い」の開催

賛助会員間の情報交換・相互のネットワーク強化を目的として毎年開催してきたが、令和元年度から令和3年度はコロナ禍で中止し、令和4年度に4年ぶりに開催した。

令和5年度は、12月19日に開催したところ、多くの方にご参集をいただき、会場の至るところで交流の輪が広がった。

また、賛助会員のPRブースについても、ものづくり系、サービス系、交通系等、多様な企業・団体に出展いただき、過去最多となった。

※ 参加者数 405名

※ PRブース数 13企業・団体

## 2 京都迎賓館記念品の販売

京都迎賓館の通年公開に併せて、京都迎賓館で記念品の販売を実施した。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが5類に移行し、京都に観光客が戻ってくる一方で、相次ぐ物価上昇に伴い、商品の仕入れ値が高騰化したことを受け、販売商品の一部の値上げを実施した。

そういった状況にあるが、陳列商品のマンネリ化を防ぐため、新商品の開発（参観記念符、ハンカチ）にも積極的に取り組むとともに、引き続き、販売・管理体制の改善に取り組んでいる。

また、新たな販売促進の試みとして、当財団が実施する「古典の日推進事業」と連携し、11月25日に開催された「古典の日朗読コンテスト」の公開最終審査会の来場者が記念品販売所で記念品を購入された場合、特典をプレゼントする取組を展開した。このほかにも、文化庁の京都移転を受けて、その機運醸成を兼ねて、文化庁移転記念セットを販売するなど、機をとらえた販促活動にも取り組んでいる。

販売額については、令和4年度の清和院休憩所（京都迎賓館南側）の開所に伴う販売所の移転により、店舗面積が大幅に縮小された影響などもあり、移転前の最高の販売額を記録した平成30年度の半分程度となるが、令和4年度比較して、微増20,834千円（103%）となった。

## V 管 理 運 営

### 1 理事会の開催

#### (1) 第25回理事会

- ア 日 時 令和5年6月1日(木) 午後3時~午後4時  
イ 会 場 ホテルオークラ京都 「暁雲」  
ウ 出席者 理事12名、監事2名  
エ 議 事 第1号議案 理事、監事の選任を評議員会に諮る件  
第2号議案 令和4年度事業報告に関する件  
第3号議案 令和4年度決算に関する件  
第4号議案 令和5年度収支予算の補正に関する件  
第5号議案 「就業規程」の一部改正に関する件  
第6号議案 「職員給与規程」の一部改正に関する件  
第7号議案 評議員会の開催に関する件

#### (2) 第26回理事会

- ア 日 時 令和6年3月4日(月) 午前10時~午前11時  
イ 会 場 ホテルオークラ京都 「暁雲」  
ウ 出席者 理事13名、監事2名  
エ 議 事 第1号議案 令和6年度事業計画に関する件  
第2号議案 令和6年度収支予算に関する件  
第3号議案 令和5年度収支予算の補正に関する件  
第4号議案 特定資産「古典の日朗読コンテスト基金積立資産」取扱規程の制定に関する件  
第5号議案 「就業規程」の一部改正に関する件  
第6号議案 「処務規程」の一部改正に関する件  
第7号議案 「古典の日文化基金賞顕彰委員会」設置要綱の改正に関する件  
第8号議案 評議員会の開催に関する件

## 2 評議員会の開催

### (1) 第25回評議員会

- ア 日 時 令和5年6月19日(月) 午後4時~午後5時
- イ 会 場 ホテル日航プリンセス京都 「ローズ」
- ウ 出席者 評議員10名、専務理事1名、監事1名
- エ 議 事 第1号議案 評議員の選任に関する件  
第2号議案 評議員会長、評議員副会長の選任に関する件  
第3号議案 理事、監事の選任に関する件  
第4号議案 令和4年度事業報告に関する件  
第5号議案 令和4年度決算に関する件  
第6号議案 令和5年度収支予算の補正に関する件

### (2) 第26回評議員会

- ア 日 時 令和6年3月19日(火) 午後2時~午後3時
- イ 会 場 ANAクラウンプラザホテル京都 「朱雀」
- ウ 出席者 評議員11名、専務理事1名、監事1名
- エ 議 事 第1号議案 令和6年度事業計画に関する件  
第2号議案 令和6年度収支予算に関する件  
第3号議案 令和5年度収支予算の補正に関する件

令和5年度事業報告には、定款第8条第1項2号に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー